

北海道水素社会実現戦略ビジョン(改定版)の概要

- (趣 旨) ・中長期的な視点から本道全体の水素社会のあり方を示すビジョンを平成28年(2016年)に策定。
 ・道内における取組の進展、国の政策動向などを踏まえ、令和2年(2020年)3月に改定。
- (目標年次) 平成28年度(2016年度)～令和22年度(2040年度)頃

1 基本的な考え方

【背景】

◀国の政策動向▶

- ◆水素基本戦略 (H29.12策定)
 - ・将来目指すべき姿、官民が共有すべき方向性を規定
- ◆水素・燃料電池戦略ロードマップ (H31.3大幅改訂)
 - ・基本戦略に掲げた目標実現のため、目指すべきターゲットを新たに設定

◀北海道の抱える課題▶

- ◆CO2排出量削減
- ◆再生可能エネルギーの活用
- ◆緊急時における電気・熱の確保

◀北海道の優位性▶

- ◆豊富な再生可能エネルギー (全国トップクラスのポテンシャル)
- ◆水素関連技術の開発・実証
- ◆事業化に適した立地環境

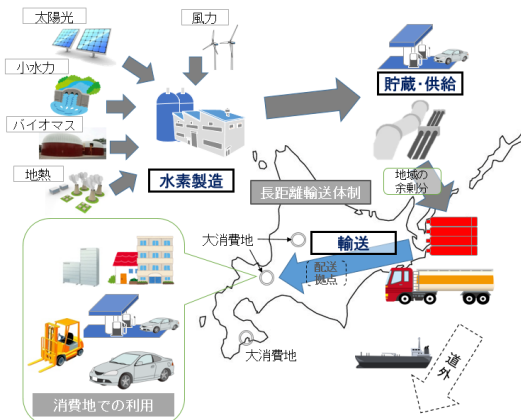
【目指す姿】

- ◎ **脱炭素社会、地球温暖化対策**
 - ◆あらゆる分野で水素への理解・利用が進み、GHGが大幅に削減
- ◎ **BCP対策、国土強靱化**
 - ◆地域内で製造・備蓄された水素で災害時に生活・産業が継続可能
- ◎ **エネルギーの地産地消**
 - ◆再エネで製造された水素が地域に安全・安価・安定的に供給
- ◎ **地域経済循環**
 - ◆化石燃料の移入が減り、域際収支が改善
- ◎ **環境産業の育成・振興**
 - ◆道内の水素関連産業が振興され、地域経済が活性化

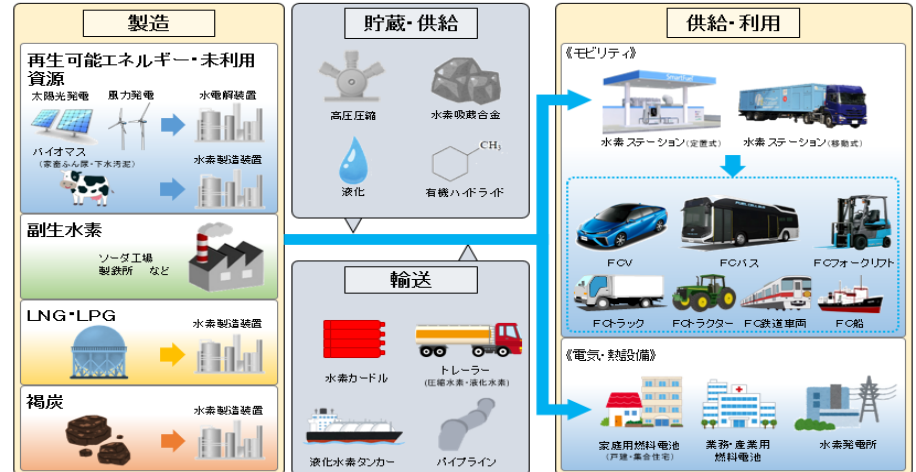
2 施策の展開(3本柱)

- ◎ **地産地消を基本とした水素サプライチェーンの構築**
- ◎ **脱炭素で安全・安心な地域づくり**
- ◎ **環境産業の育成・振興**

【サプライチェーン広域展開イメージ】



【2040年度頃のサプライチェーンのイメージ】



3 ビジョンの推進

- 関連企業・団体・市町村との連携
- 「水素サプライチェーン構築ロードマップ」による具体的な取組の着実な推進